



広島廿日市ロータリークラブ会報

— 本年度会長方針 —

「広いところ 豊かなところ」 NO.357



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

例会日 / 毎週月曜日12:30~13:30 例会場 / 広島サンプラザ TEL(082)278-5000 会長 / 梶田 滋 幹事 / 久保田幸恵

第708回 2011年9月12日

於：広島サンプラザ

結婚祝



今月結婚記念日をお迎えの方をご紹介します。

梶田 滋 会員 記念日 9月19日
清水 理也 会員 記念日 9月22日
おめでとうございます。

会長時間



先日行われました理事会報告が
中井克洋副会長より報告

幹事報告

クラブ協議会

本日例会終了後 13:40~3階「未広の間」におきまして、クラブ協議会を開催します。ご案内をお送りしましたとおり、理事・役員・委員長の方は事業計画の進捗状況について、2分程度のスピーチをお願いします。

次回の例会

次週 9/19は、祝日のため休会です。次回の例会は、9/26(月)となりますので、お間違いないようお願いします。

スマイルボックス

太田 泰宏さん
梶田 滋さん
久保田幸恵さん
福原耕二郎さん
永井 勝康さん
松野 正信さん
渡邊 英晶さん
藤木 寛さん
河内 正晴さん

卓話



「一日一生」

行者山 太光寺 住職
東 和 空 様

フランスに「人と精」という寓話(ぐうわ)があります。ある妖精が一人の子供に一つの糸まりを与えて言いました。「この糸はおまえの一生の日々の糸だ。糸を早く引っ張ると時間が早く流れ、糸をゆっくり引っ張ると時間がゆっくり流れる。」まず、子供は大人になりたくて早く引っ張りました。愛する婚約者と結婚するために、子供たちが大きくなるために、利益や名誉を得たり、心配事から早く解放されたり、年とともにやってきた病気を避けたり、厄介な老人を終わらせるためにスピードを上げて糸を引っ張ったのです。その結果、子供は糸まりを与えられて4ヶ月と6日しか生きていなかったというお話です。

このことは、「命の大切さ」をどう思うかということが一番大事ですよとっています。「命の大切さ」というのは、人としての生き方そのものです。日頃どう生きているか、自分がどう生きているかを問いかけること、そのこと自体が命の大切さであると思います。そして、命というものは目に見えないものだけれど、私たちが使える時間こそが私の命なのではないでしょうか。

お釈迦さまは、普段どおりに生きて普段どおりに亡くなっていきました。生きてきたように亡くなっています。生きざまがそのまま死にざ

まになっています。あらたまって身構えることなく、普段の生活を自分の生き方の目的にそって日々整えているだけです。誰かに強制されるのではなく、自発的に生活が簡素に、また静かになるように整えるのです。私たちにとっては、こうありたいと願う人生にかなう生活の習慣を身につけるといことです。そして、生き方が定まれば死に方もおのずと定まってきます。それが覚悟ではないでしょうか。

感謝をもって今日の幸せを感じて生きること。明日の健康、自分、仕事を信じて明日の幸せを信じること。夢を持っている今が幸せというように夢を自覚して生きること。相手を通して得る幸せを知り、人を幸せにすること。不幸は自分が勝手に作り出していることに目覚め、不幸を幸せに変えること。一日を一生のように生きたいものです。



第709回 2011年9月26日

於：広島サンプラザ

会長時間



奉仕プロジェクト委員長

渡邊 英晶 会員

みなさん。こんにちは。今日は会長時間をいただきまして職業奉仕についてお話しします。

我々ロータリアンが一番大切にしていること、それが「職業奉仕」です。

ロータリークラブは、企業経営者、専門職といった職業人の集まりです。会員は、それぞれの職業を代表してクラブに入会します。したがって、会員候補者は、その時点で既にその職業において高い見識と業績を積み上げてきておられますが、そういった人々が集まって切磋琢磨し、さらに職業倫理の向上に努める、というのが、ロータリーにおいての職業奉仕の基本です。

また、自らの企業や専門職についての知識や技術の向上と発展、顧客満足、従業員やその家族に対する責任、社会に対する責任などを、例会をはじめとするさまざまな会合ならびに奉仕活動を通して互いに学び合い、自らの職業において実践する。これも職業奉仕です。

みなさんに唱和していただいている「四つのテスト」は、アメリカのロータリアン1954~55年度RI会長故ハーバート・テラー氏が、ある企業の再建を引き受けたときに考えた企業の倫理的指針です。彼は、これによって見事にその企業の再建を果たしました。それ以来、ロータリアンたちに職業倫理の指針として広く愛用されています。さらに、職業奉仕には、自らの職業や職業における専門知識を通して、地域社会や国際社会に貢献するという考えも含まれています。国内のロータリークラブがそれぞれ実践していることについて話しましょう。

地域の担い手を育てる

若い技術者の育成を応援する取り組み、研究開発の助成金を贈ったり、技術的な助言を与えるなど、地域の担い手を育てる活動に尽力しています。

職場訪問を実施する

職場訪問を通して、大切なのは事業規模にかかわらず、「お客さまに安心していただくことなのだ」と再

認識していただく事が主体です。職業奉仕の面で得るものが多く、会員同士の親睦も一層深まると思います。

優良社員表彰をする

会員の企業での職場体験学習の受け入れる

それでは、知られざる職業についてお話ししましょう。障害者支援についてですが、いままで、タブーとされていた支援部分についてお話しします。

自力での射精が困難な障害者への「射精介助」というのがあります。射精介助の利用対象者は、二次障害の進行によって自力での射精が困難な脳性まひの人、難病による筋萎縮や麻痺のために自力での射精が困難である人(髄膜炎、関節リウマチ、筋ジストロフィーなど)です。手が満足に使えない障害者は陰部を清潔に出来ないだけでなく風呂に入るのにも介助が必要です。意に反して性器が勃起する患者もおります。患者は相当の恥ずかしさとプレッシャーを感じ介護職員を遠ざけたり、性の抑圧から精神障害を引き起こす事も少なくありません。実際のサービスは、非営利組織によるケアスタッフが介護用手袋を着用し射精を介助する。セックス・ワーク(性風俗・売春労働)とは異なり、明確な倫理基準・衛生基準に基づいた「職業的介護行為」です。利用者は今年6月までに全国18都道府県で250人を突破しています。

幹事報告

インフォーマル・ミーティング

今週金曜日 9/30 は、ふじ寿司におきましてインフォーマル・ミーティングを開催します。ボックスへ出欠表と地図を配布しておりますので、よろしくお願い致します。

ロータリー財団アンケート

ロータリー財団 未来の夢計画のアンケートを配布しております。

来週月曜日 10/3 までに提出をお願いします。

水保全活動

来週日曜日 10/4 は、御手洗川清掃を予定しております。

出欠の未回答の方は、事務局までご連絡ください。

スマイルボックス

梶田 滋さん
大藤 良治さん
佐伯 敬男さん
永井 勝康さん
河内 正晴さん
中井 克洋さん

卓 話



<日本文化の心「いけす」>

いけばな実践者の証言>

芸術学博士 鈴木 榮子 様

いけばな稽古を半世紀続け、外国人の指導にあたって四半世紀になる。日本人と外国人の植物に対する姿勢には差異があると気づき、いけばな哲学の研究を始めた。10年かかったが論文にまとめ、2006年に芸術学博士学位を授与され、2011年2月『いけばなにみる日本文化』(思文閣)を出版した。花飾りは世界中にあるが、精神性を加え芸にまでした日本人の智慧はユニークである。後世に残したい。

殺人や虐待などの自分本位の事件が多発する昨今の日本。戦後の経済発展の裏で、伝え忘れていたものが確かにある。夏休みにGrand Canyon一周ドライブをしてきた。渓谷の規模の大きさに、東北を襲った津波を思い出し、改めて自然に畏敬の念を深めた。人智では越えられない力の存在を認めざるを得ない。人間は元来、自然と共生していた。Arizonaの砂漠に暮らすネイティブアメリカンには、砂漠と協調する文化があった。日本では緑豊かな自然と協調して歩む文化があり、その延長線上にいけばながある。科学が発達し、経済力がつくと、過酷な自

然環境でも快適に暮らせる時代になりいつの間にか、自然は闘い乗り越える対象となった。

西洋では過酷な自然と闘う姿が英雄であるが、温暖地の日本人は自然と一体になる心地よさを知り、自然は協調して生きる対象である。その根本には一元思想がある。互いに生かし合いになる文化である。近代日本が追いつけた西洋の、勝敗をつける二元の文化は、日本には馴染まない。

生かし合う思想は、いけばなの哲学にも流れる。卓話では、実践者の立場から画像と共に解説する。生かし合う姿勢の重視は対人関係にも当てはまり、世界平和にすら役立つであろう。自己主張し合っても争いにしかならない。相手に思いを馳せ、譲歩しあうことが互いの平和に繋がる。日本文化には生かし合い、思いやる心が流れる。今、私たちが世界に貢献できることは、この哲学を発信し共感を得ることではなからうか。



ゆうほR.C.C 2011年 9月定例会 報告書

平成23年9月14日(水) 19:30~
八幡公民館

<出席者>

・廿日市ロータリークラブ: 山根
・ゆうほロータリー: 稲田、渡辺、森田、長、西川、住田、船木
1. ゆうほロータリーから

<パトロール&環境保全>

日時: 7月15日(金) 18:00~

場所: ビッグ・ローソン~ダイソー~八幡交番~サンリブ

参加: 廿日市ロータリー

ゆうほ: 森田、長、西川、住田

~気づき~

特に気になることはなかった

日時: 8月19日(金) 18:00~

参加: 廿日市ロータリー: 山根、松野

ゆうほ：渡辺、森田、住田、船木
～気づき～

小中学生の姿はあまりみなかった。しかしゲームセンターは夏休みのせい小さい子ども連れの家が多かった。ゴミは相変わらず多い。

< 防犯教室 >
日時：9月7日(水) 美鈴が丘小学校 11:40～
集合：ビッグ駐車場
参加：森田、植村、住田、長、西川、稲田
～気づき～ 一年から三年までが対象でしたが、みんな静かに集中して、劇をみていました。

< 防犯講習会 >
日時：7月17日(日)10:00～
場所：田方上集会所(古田包括支援センターより依頼)
集合：9:00 ビッグ駐車場
参加：森田、笠井、住田、植村、稲田、長、西川、船木
～気づき～

とても暑い日で、熱中症を心配し外出を控えたかたもいらした様子で、出席者は20名くらいで、予定より少なかったようです。
被害防止の劇を見たことの無い人ばかりで、興味深く見ていました。
実際に被害にあわれた方もいらしゃり、とても勉強になったとおっしゃっていただきました。

< 夏休み工作・防犯教室 >
日時：7月23日(土) 10:00～14:00
集合：9:00 場所：八幡公民館
参加：森田、笠井、住田、植村、稲田、長、西川、渡辺、船木
内容：「がんばれ!日本 がんばろう!やはたっ子 エコマイウチわ」作りうちわを二本作り、一本は自分用もう一本は一人暮らしの高齢者の方にお渡しします。
うちわが乾くまでの間、万引についてみんなで話し合い発表してもらいました。

～気づき～
うちわを作るのが二度目の子どももいて、みんな要領よく作っていました。
また、高齢者のかたも毎年、楽しみにしていたとき、子ども達とうちわをもって行くと、とても喜んでいただきました。
防犯教室の話し合いでは、活発に意見が出て、発表もしつかり出来ました。

< 夏まつり声かけ活動 >
日時：8月6日(土) 場所：薬師が丘、八幡が丘、八幡神社
日時：8月12日(土) 場所：ザ・ビッグ
～気づき～
特に、問題はありません。
近くの公園で、中学生らしいグループが花火をしていたので、早く帰るよう声かけしました。

< その他 >
「安全と安心のまちづくり 子どもたちを守るまちづくりを考えようinはつかいち」に参加

日時：7月30日(土)13:30?16:30
場所：廿日市市総合健康福祉センターあいプラザ3階
参加：森田 長 西川 稲田
内容：基調講演 満嶋 明先生
演題 「子どもの安全・安心は家庭教育から」 実践報告：地域のボランティアグループ、警察など団体による、活動報告。

御手洗川の清掃活動
日時:7月31日(日) 10:00～
参加:稲田、笠井、西川、船木

2 .広島廿日市ロータリークラブから
10月16日(日) ロータリークラブ地区大会への参加依頼。
(ゆうほからは、笠井、西川のふたりが参加します。)

3 その他
4 次回は

9月 環境保全
9 / 16(金)18:00～ 集合:ザ・ビッグ五日市店
たこ焼き店前、名札持参
防犯ベストあり
10月 定例会
10 / 12(水)19:30～
場所:八幡公民館
10月 環境保全
10 / 21(金)18:00～
集合:ザ・ビッグ五日市店
たこ焼き店前、名札持参
防犯ベストあり

米山奨学生9月レポート

2011学年度米山奨学生 呉曉麗

【世話クラブへのお願】レポート未提出の場合、翌月以降の奨学金支給を停止してください。
奨学生→カウンセラー(伊藤 純)→奨学会 (FAX提出受付 03-3576-8281)

2011年9月提出 奨学生レポート

ローター地区番号:2710	奨学生番号:16350	氏名:呉曉麗
国籍:中国	大学名:広島化学園大学	
世話クラブ: 広島廿日市	RC	カウンセラー:有田晴好

【テーマ】下記1～3から一つ選んで番号に○をし、その内容を記述してください。
1. 日本について知りたいことや、困っていることなど、カウンセラーに聞きたいこと
② 大学での学業・研究の進捗状況
3. 学業以外の活動について ※別紙添付の場合はA4判(本用紙のサイズ)でお願いします。
大学での学業 研究の進捗状況
大学でマーケティングと広告について勉強しています。
卒業まで、後半年間なので、今、修士論文に専念しています。修士論文の主な内容は広告が消費者の思考や購買行動に影響を与えている、そのイメージや記憶を購買行動へと導くためには、どのような購買意欲プロセスを介して購買行動を起こすのか また 購買意欲や意識には消費者の思考や心理はどのように働いているのか、心理学的に人間の一定の購買行動や広告における消費者心理はどのように解釈されているのかを解析する。

米山ロータリーの奨学生になった以来、勉強に集中出来たのみならず、論文についての貴重な意見も色々いただきました。ご存じのように、マーケティングはとて広い学問ですが、心理学、ブランド、ロコミ、ネット販売...です。カウンセラーから、それを全部論文に書くのではなく、二つぐらいを絞って書けば、素晴らしい論文出来るよというアドバイスをいただきました。そのアドバイスを謙虚にいただき、論文を仕上げたいと思います。
皆様のご期待に答えるように、論文と就職活動を頑張ります。引き続き応援よろしく申し上げます。

カウンセラーの所見

カウンセラーには指導教員との接点(訪問・電話・メールなど)をもっていただき、奨学生の学内での様子を把握していただく同時に、ロータリー精神や運動を広報していただくことが期待されます。

- 指導教員を例会に招待しましたか... a. 招待した 招待しなかった 招待しなかった
- 上記以外で指導教員との接点を持ちましたか 接点を持った 具体的に → 10月4日(火)に面会予定です。
b. 今後連絡する予定 どんな方法をお考えですかー
c. 持つつもりはない 何故ですかー
- カウンセラーが奨学生に対して感じている点など

4月に米山奨学生になって以来、呉さんの勉学に打込む環境が整ったと思います。例会で8月に卓話してもらい、7月の京都米山研修旅行のレポートをクラブ会報に載せたりして、会員に理解を深めてもらうようしています。また、ロータリーの例会出席で、ロータリー精神を学んでもらうこと、当クラブ会員とも少しづつではあるが話をする人が増えてきている。今後もっと多くの人と話ができるよう頑張りたい。

現在、就職活動中で、本人の専門を生かせる会社に入ることができれば良いと考えています。

ロータリーひとくちメモ⑤

ロータリーの徽章(Emblem & Badge)

ロータリーの公式徽章はロータリーの名称の由来であるローテーションを象徴する車輪がシカゴクラブ創立間もない頃考案され使用されていたがその後1912年に、歯車を表す現在のデザインが採用されました。

徽章は、どのような方法であろうとも改造、修正してはならない。また、所定の形以外のものを複製してはならないし、ふたつ以上の色で印刷される場合の徽章は、ロータリーの公式色ロイヤルブルー及び金色のみで印刷しなければならないと規定されています。

クラブの各会員はロータリーアンとして知られ、国際ロータリーの徽章バッジまたはその他の記章、着用する権利を与えられたものとする。

(R1定款第13条)

国際ロータリーならびにクラブの名称、徽章、バッジその他の記章をクラブまたはクラブの会員が商品の商標または特別の銘板として使用し、あるいはその他商業上の目的の為に使用することは一切できない。これらの名称、徽章またはその他の記章を他の名称または徽章、バッジと組み合わせることは国際ロー

タリーの承認しないところである。
(R1 細則第18条)
このロータリーの徽章は、例会やメイクアップのときは必ず使用しなければいけない。

心に作用する逸品のコーナー

このコーナーでは心にプラスに作用する映画や音楽を会員に紹介して頂こうと思っています。
良い作品に出会え、会員の新しい一面が分かるかもしれません。

『鬼 蓄』
(制作年度:1978年) 原作 松本清張
紹介会員名: 松野正信

当時21歳の私は、付き合い始めた彼女との初デートで見ました。前情報もなく、単なるホラー映画ぐらいの気持ちで映画館に入りました。きゃーと言って、彼女が腕にしがみ付いてくるかなという下心で見始めましたが、そんな事態に成ることはまったく無く、終わってみれば、顔を合わせるのも恥ずかしいくらい涙・涙・涙。まわりの人たちも、すぐに席を立つ事ができないくらい、衝撃的な実話を元にした映画です。愛人を持ち3人の隠し子をもつ夫(緒形 拳)男に見切りをつけて、腹を痛めた3人の子供を押しつけた愛人(小川真由美) 子供が持てず、愛人とその子供への憎悪をあらわにする妻(岩下志麻)3人の鬼畜が登場する。なんの罪もない無邪気な3人の子供が、1人ずつ消されていく...。ラストシーンはもうとにかく圧巻。俺のように涙がでました。

幼児虐待・子殺しの事件は昔よりもだんだん増えているように思います。人間の所業ではないと思いたいですが、残念なことどこにでもいる人間が起こしています。餓鬼・畜生の心はどんな人でも持っています。その心が表に出てこないよう常日頃から心掛けたいものです。